

# 新語・流行語

# 用語事典

新聞記事でもよく見るけど、  
意味がはっきり分らないから……  
そんな用語をわかりやすく解説します。

## 検察審査会

検察の下した不起訴処分が妥当かどうか審査する機関で、有罪者の中からかくして選ばれた11人の検察審査員で構成されます。不起訴を不服とする被害者などからの申し立てのほか、新聞報道をもとにかけに行われることも。その結果「不起訴不当」(起

訴相当)と判断されると、検察は処分の再検討を求められます。法改正で昨年からは機関が強化され、起訴すべきと再び判断された事件は強制的に起訴となります。市民影響が司法に反映しやすくなる一方、マスコミ報道や世論に流されやすい面も心配されています。



- 不起訴相当 不起訴処分が妥当
- 不起訴不当 不当に起訴された
- 起訴相当 起訴すべき

## サイレントロ

消費しない、働かない、子供を産まないといった行動によって消費的に社会に反抗する行為です。消費を減らすマスメディアのあり方や格差の拡大に不満を持つ若者を中心に、この概念、インターネット上でこの考えが広まりました。ネットや非営利活動の増加にも影響しているといわれます。長期的に続けば税金・年金減および人口を減少させ、社会システムの崩壊につながるため、政府や自治体は引きこもり予防などに力を入れ始めていますが、有効な対策はまだ見つかっていません。



## オフショアリング

企業が業務を海外に移管、委託することです。主に資金の強い海外へ移すことによるコスト削減、人材不足の解消が目的です。現在は単利労働から高技能などの高度な専門職まで、さまざまな職種で展開が進んで

## 中国が約8割



います。しかし、言語・文化の違いによる業務の遅れや品質管理の難しさなど、課題も山積。また日本国内の雇用を減少させ、企業による人件費抑制や非正規雇用化につながっているとの指摘もあります。

## 電磁波過敏症

携帯電話や家電などの電磁波にも敏感に反応して、さまざまな体調不良が起きる症状です。高圧線などが発する強い電磁波については人体への影響が科学的に証明されており、WHOは2007年、電磁波過敏症を各国に勧告しました。しかし、電磁波過敏症の影響は未解明なことから、電磁波過敏症は日本では公的に認められていません。海外では公的な健康保険の対象となったり、子供の障害者施設利用を制限したりする国もあり、日本でも対策を求める声が上がっています。

## ソムリエ

ソムリエをもじった造語で、「一人で子育てできる祖父」を指す言葉です。発明者はNPO法人エガリテ大不肖、同法人による祖父向け育児講座を受け、おちおちの発達過程から抱っこ・離乳食づくり・沐浴のそと方まで理論と実践をみっちり学ぶ「ソムリエ」認定資格が得られます。現役子育て世代の親の多くは、大抵定年退職期を迎えた団塊世代そのマンパワーを駆使して生かすことで、定年後の生活の充実と子供世代の負担軽減を見込める、「一石二鳥の叔み」といえるでしょう。

